

# 子ども会活動の手引き

子ども会活動を支える  
子ども会育成会員の皆様に向けて

～参考資料\_実践集1 インリーダー研修の進め方～

## はじめに～地域にリーダーが必要なわけ～

社会の仕組みが変わる中で、子どもの育成には、学校・家庭・地域の連携、協力がますます重要になっています。その中で、地域の働きの大切だと言われております。また、地域で災害や避難を経験した方から、「小学生リーダーが地域の小さい子にゲームなどをしてくれて、とても助かった。」という話も聞いています。

一方で、「どのように地域のリーダーを育てるか分からない。不安だ。」という声もいただいています。そこで、地域のリーダー育成のお助けになればと思い、資料を作成しました。



## インリーダー研修会のねらい～地域のリーダー像って？～

インリーダー研修会を進める上で、大切なことは、地域のリーダー像を明確にすることです。地域の実態によって変わってくると思いますが、全般として次のような姿が考えられます。

＜リーダーとして大切にしたい姿（一例）＞

- 自ら進んで活動する姿 (自主性)
- 仲間と共に折り合って活動する姿 (社会性)
- みんなでチャレンジした成果を喜び合う姿 (創造性)



このような姿にするために、研修の中には、自ら、仲間と一緒に活動する場面、成果を他者（相手）に伝える場面を組み込むことを入れることをすすめています。

## インリーダー研修会の進め方～実際にどう進めるといいの？～

研修を進める上で考えたいことは、大きく2つ（1年間の大きな動き、1回の流れ）があります。

### 1 1年間の活動を決めましょう

＜活動の考え方＞

★地域でやるべきこと + 子どもたちがやりたいこと + 育成者ができること

- 地域でやるべきことで、成果を喜び合ったり伝えたりする場を取り入れましょう。
- 子どもたちがやりたいことで、自ら、仲間と一緒に活動する場面を取り入れましょう。

- 子どもに聞くことで、活動のヒントや内容が見えてくるので、たくさん相談することをすすめていますが、育成者の皆様ができないことは「今年はできないよ！」とはっきりと言いましょ。
- 育成者で指導が難しい時は、サポートを依頼しましょ。  
(シニアリーダー、ジュニアリーダー、特技指導講師、子ども会事務局・市子連役員等)
- 令和6年度は、基礎的なリーダー研修やレクリエーション・クラフト・グループワークに関する研修を社会・青少年教育課が主催して各ブロックでも行います。



## 2 1回の活動を決めましょう

<活動の考え方>

### ★めあて + 活動内容 + 役割分担（子どもたちに任せる）

- 活動のめあてがあると、子どもたちは仲間と相談しながら主体的に活動できます。
- 大人がやりたくなることも出てきますが、ぐっとこらえて子どもに任せることも大切です。

- 活動の終わりに、「次の会は、〇〇だけどうやってやる?」「誰が司会する?」などと聞くことで、子どもたちも活動の見通しが持てます。また、活動の最初に役割分担をしてから始めるのも1つです。

### 例：みんなと楽しく歓送迎会（お楽しみ会）をしよう

- めあて：卒業生や新入生のあいさつを聞いたり、みんなでゲームしたりすることを通して、卒業生へ感謝の気持ちや新入生と仲良くしたいという気持ちを持つことができる。

#### 【事前準備】

- ①買い出し（お菓子等）（前日までに） 子どもと一緒にいくと、当日楽しみ度アップ!
- ②プログラム書き（当日の朝でも可） メモの通りに書くだけでもOK
- ③役割分担（当日の朝でも可） 全体進行、ゲーム進行、あいさつ（始め、終わり）

#### 【当日の運営】

（1）準備・・・リーダーは30分前集合準備にするとスムーズにできます。

○役割分担、机移動、プログラム書き、整列方法の確認、受付補助

（2）進行・・・子どもたちが頑張る姿を見届けましょう。

①始めの言葉 「これから〇〇を始めます。今日は〇〇がめあてです。めあてを大切にしながら、みんな楽しくがんばりましょう。」

②あいさつ

- 卒業生や新入生のお話を聞く。
- 例：卒業生は、これまでの振り返りを語る。
- 新入生は、名前とよろしくお願いします。

③ゲーム

- 時間に応じてゲームをする。

ゲームのポイントは【実践集2 レクリエーションの進め方】をご覧ください。

④プレゼント配り

- 配り方も工夫しよう。

例：新入生から順番に…、王様ジャンケンをしながら…、など

⑤終わりの言葉 「今日は〇〇がめあてでした。私は、〇〇さんからの話を聞いて、4月から6年生なのでリーダーとして、新しく1年生になる子どもと一緒に頑張ろうと思いました。また、〇〇さんから～してもらえてうれしかったです。これからも一緒にがんばりましょう。これで〇〇を終わります。」

（3）片付け、振り返り・・・できることは子どもにやらせましょう。

○片付けまでが仕事。がんばった子はいっぱい褒めましょう。

- 子どもが帰る前に、育成者の話で、たくさん褒めて終わらしましょう。
- 振り返りができる時は、できたこと、次がんばることを話してもらいましょう。